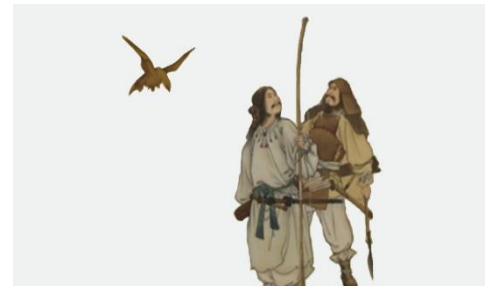


下鴨神社

近藤 悠太

(2019 年度入学 鈴木ゼミ 3 期生)

下鴨神社は京都市左京区下鴨泉川町に所在し、賀茂別雷神社が所在する京都市北区上賀茂本山町よりも南に位置している。正式名称は「賀茂御祖神社」と呼ぶ。鴨川の下流にまつられているお社ということで、「下鴨さん」、「下鴨神社」と親しく呼ばれている。国宝の本殿を 2 棟、重文の建造物を 53 棟持つ。祭神は賀茂別雷命の祖父にあたる賀茂建角身命と、母の玉依媛命である。賀茂建角身命は古代の京都をひらかれた神様で、山城の国一宮として京都の守護神としてまつられている。平安京が造営されるにあたって、まず当神社に成功のご祈願が行われた。それ以来、国民の平安をご祈願する神社と定められた。山城国「風土記」などに、玉依媛命が鴨川で禊をされているときに、上流より流れてきた丹塗の矢を拾われて床に置かれたところ、



ろ、矢は美しい男神になられ、結婚され、お子をお生みになったとの神話が伝えられている。そのため、古くから縁結、子育ての神さまとして信仰されている。賀茂建角身命は農耕をひろめ民生の安定につとめたことによって、世界平和、五穀豊穡、殖産興業、身体病難解除や、導きの神、勝利の神、方除、厄除け、入学や就職の試験などの合格、交通、旅行、操業の安全など多方面に御神徳を顕している。玉依媛命は婦道の守護神として縁結び、安産、育児等、また水を司る神として著しい御神徳を発揚している。

下鴨神社へは糺の森の 700 メートルの参道を通る。糺の森は古典文学にも頻出する著名な森である。約 12 万㎡であり、ムクノキ・エノキ・アキニレ・クヌギなどが生い茂り、草本もいれると 163 種類にもなり、広大な森となっている。京都の町中に古代の植生を残す、国史跡の糺の森は奇跡的な存在である



るといってもよいだろう。さらに、ここは関西ラグビー発祥の地でもある。このような糺の森はどのようなような利用を行っているのだろうか。少し古い資料ではあるが、1984 年の春、夏、秋に実施された糺の森の利用調査結果参考にしてみる。

神社の年中行事がない日の糺の森への一日の来訪者は 1000～1200 人、5 月や 11 月の日曜には 2500～3300 人の人々が訪れる。5 月や 11 月の日曜日には結婚式や献茶会、七五三まいりなど、神社の森に固有の来訪者も含まれる。糺の森で行われる利用行動は歩行、犬の散歩などの「移動型」、野球などのボール遊び、鬼ごっこなどの「動的利用型」、

読書や食事など「静的利用型」、川遊びや昆虫とりなどの「風知的利用型」、写真撮影や映画ロケーションなどの「風景的利用型」に分類された。人々によく利用される場所は広い裸地(馬場など)や、明るい落葉樹林、落葉・常緑混交林でささの少ないところで、ここではほとんどの利用行動がみられた。常緑樹林や川沿いでは風致的利用がされた。

このように糺の森は多くの人々によって様々の方法で利用されている。平地に落葉樹林、泉川の自然的な川の流れ、馬場などの広場的空間など変化に富む糺の森だからこそ、多様な利用が可能なのだ。日常的に訪れる人たちの大半は地域の都市住民であり、糺の森は憩いの場として利用されているのだ。

参道の先にある南口鳥居をくぐると境内に入る。年とともに大きく成長し、岩になると信じられている神霊の宿る石であるさざれ石、「レースお守り」やちりめん生地「媛守」が売られている授与所、二本の木が途中から一本に結ばれている不思議な木の連理の堅木などが向かって左にあり、それらを過ぎると、朱塗りもあざやかな3間1戸の楼門が見えてくる。入母屋造り、檜皮葺きで、高さは13mとなっており、堂々としたたたずまいである。この楼門をくぐって進んでいくと東本殿、西本殿からなる本殿が建っている。ともに国宝である。1863年の造替だが、平安時代の古式を伝えている。東本殿は玉依媛命を、西本殿は賀茂建角身命がまつられている。屋根が手前に流れるように広がる三間社流造り、檜皮葺きである。上賀茂神社の本殿・権殿と同形式だが、向拝の奥行きが長く、高欄と木階にあざやかな朱をほどこし、正面両わきのはめ板に獅子・狛犬が描かれていないことが大きな違いである。他には本殿に近く



に印璽社が古くからまつられている(印璽とはしるし、おして、印形のこと)。古くより印は宮廷や社寺において貴重な秘印として扱われ、それが次第に神格化されていった。現在では、契約の神として参拝をされることが多い。また、女性守護のお社で、下鴨神社の摂社として古くからまつられている河合神社もある。祭神は玉依姫命をまつっており、玉依姫命が玉のように美しかったことから美しい神としての信仰も深い。そして、美しい祈願絵馬として鏡絵馬の授与を行っている。このように下鴨神社は様々な方面の祭神をまつっており、興味深い神社となっている。

上でも述べたとおり、下鴨神社は上賀茂神社の祭神である賀茂別雷命の祖父、母を祭神としてまつっており、上賀茂神社と深い関係を持っている。私は、上賀茂神社には何度か訪れているものの、下鴨神社には一度も訪れたことが無い。就職の合格などにも御神徳を願っているのので、就職活動も近づいてきている私としては合格祈願のために、上

賀茂神社と下鴨神社を共に訪れたいと思う。他の人にも多くの御神徳を顕すこの下鴨神社に是非とも訪れて欲しい。きっと就職活動の時に御利益があるだろう。下鴨神社に訪れて共に、就職活動を乗り越えよう。

参考

上田正昭、川上貢等. 下鴨神社と糺の森. 淡交社. 2003 年

編集 山本尚幸、発行 太田雅男. 週刊神社紀行 上賀茂神社 下鴨神社 みやびを伝える
葵祭. 学習研究社. 2003 年

賀茂御祖神社(下鴨神社)【京都市公式】京都観光 Navi https://ja.kyoto.travel/tourism/single01.php?category_id=7&tourism_id=498.

下鴨神社 | 賀茂御祖神社 <https://www.shimogamo-jinja.or.jp/>.